

【保育実習指導Ⅱ】

◎子ども学科の学位授与の方針（ディプロマ・ポリシー）

D：子どもの豊かな育成環境を考え創造し表現する能力、及び幼児教育・保育の知識・技能を活用して実践的な援助や判断ができる能力を身に付けている。

◎この科目のシラバスにおける到達目標

1. 保育所、児童福祉施設等の社会的ニーズと役割・機能を理解できる。(D)
2. ビデオ教材や実地の見学・観察を通して子どもへの理解を深めることができる。(D)
3. 既習の教科の内容を踏まえ、子育て・子育てについて総合的に学んでいる。(D)
4. 保育の計画、観察、記録及び自己評価等について具体的に理解できる。(D)
5. 保育士の業務内容や職業倫理について具体的に学んでいる。(D)
6. 実習に向けた準備として、作成物や報告書などの課題を適切に行うことができる。(D)

◎この科目の学修評価にあたっての目安

到達目標	A	B	C	D
1. 保育所、児童福祉施設等の社会的ニーズと役割・機能を理解できる。(D)	保育所、児童福祉施設等の社会的ニーズと役割・機能実践的内容を理解できる。	保育所、児童福祉施設等の社会的ニーズと役割・機能の具体的展開を理解できる。	保育所、児童福祉施設等の社会的ニーズと役割・機能の法令・施策を理解できる。	保育所、児童福祉施設等の社会的ニーズと役割・機能の現代的課題を理解できる。
2. ビデオ教材や実地の見学・観察を通して子どもへの理解を深めることができる。(D)	ビデオ教材や実地の見学・観察を通して子どもの発達を分析的に理解できる。	ビデオ教材や実地の見学・観察を通して子どもの発達の個人差を理解できる。	ビデオ教材や実地の見学・観察を通して子どもの発達の仕組みを理解できる。	ビデオ教材や実地の見学・観察を通して子どもの発達の諸特徴を理解できる。
3. 既習の教科の内容を踏まえ、子育て・子育てについて総合的に学んでいる。(D)	既習の教科の内容を踏まえ、子育て・子育てについて実践的関連を学んでいる。	既習の教科の内容を踏まえ、子育て・子育てについて社会的問題を学んでいる。	既習の教科の内容を踏まえ、子育て・子育てについて具体的内容を学んでいる。	既習の教科の内容を踏まえ、子育て・子育てについて基本的事項を学んでいる。
4. 保育の計画、観察、記録及び自己評価等について具体的に理解できる。(D)	保育の計画、観察、記録及び自己評価等について実習での想定を理解できる。	保育の計画、観察、記録及び自己評価等について作成内容・方法を理解できる。	保育の計画、観察、記録及び自己評価等について様式・手順などを理解できる。	保育の計画、観察、記録及び自己評価等について実践的な根拠を理解できる。
5. 保育士の業務内容や職業倫理について具体的に学ん	保育士の業務内容や職業倫理について想定され	保育士の業務内容や職業倫理について『保育実習	保育士の業務内容や職業倫理について『保育所保	保育士の業務内容や職業倫理について関連する

でいる。(D)	る実践上の課題 を学んでいる。	の手引き』の内容 を学んでいる。	育指針』の内容を 学んでいる。	法令・施策などを 学んでいる。
---------	--------------------	---------------------	--------------------	--------------------